

通りにおける道路空間再編の全国的動向と 社会実験による整備方針の検討

大分大学 建築・都市計画研究室 B4 高見 菜月

豊後大野市 三重町駅前通り (県道517号線)



幹線道路



商店街



通勤通学路



歩行者と
自動車が
入り乱れる

図1 対象道路周辺の施設立地

1. 研究の背景

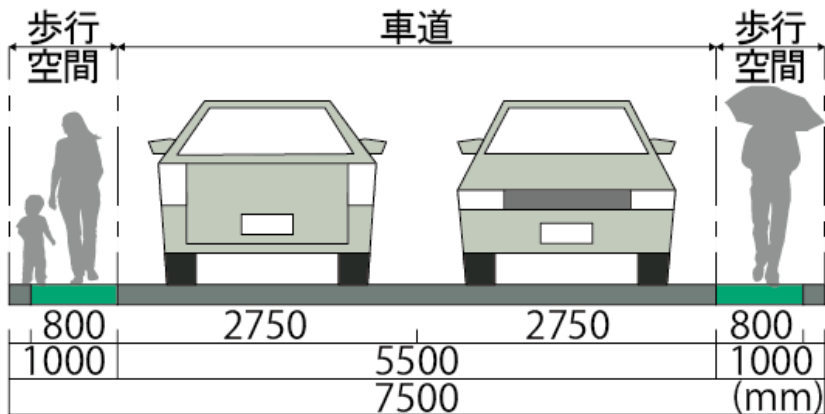


図2 対象道路の幅員構成

出典: 豊後大野市「路線概要参考資料」より作成

歩行者・自動車の安全が望まれる

市民団体が「歩車共存道路」に再編する計画を提案

具体的な空間設計には至っていない



図3 対象道路の様子

出典: google earth

2. 研究の方法と目的

① 全国の先行事例の特徴分析

- ・ 歩行空間の確保の方法
 - ・ 断面形状
 - ・ 植栽配置
- など

② 市民の意向把握

- ・ 地権者・事業者ヒアリング
- ・ 若年層対象のワークショップ
- ・ 街路断面検証の社会実験
- ・ 街頭アンケート調査

③ 現状分析と設計要件の整理

- ・ 都市計画決定事項 / ・ 現地測量 / ・ 道路構造令
- ・ 国土技術政策総合研究所の歩車共存道路デザインガイドライン
- ・ 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン 等を参照

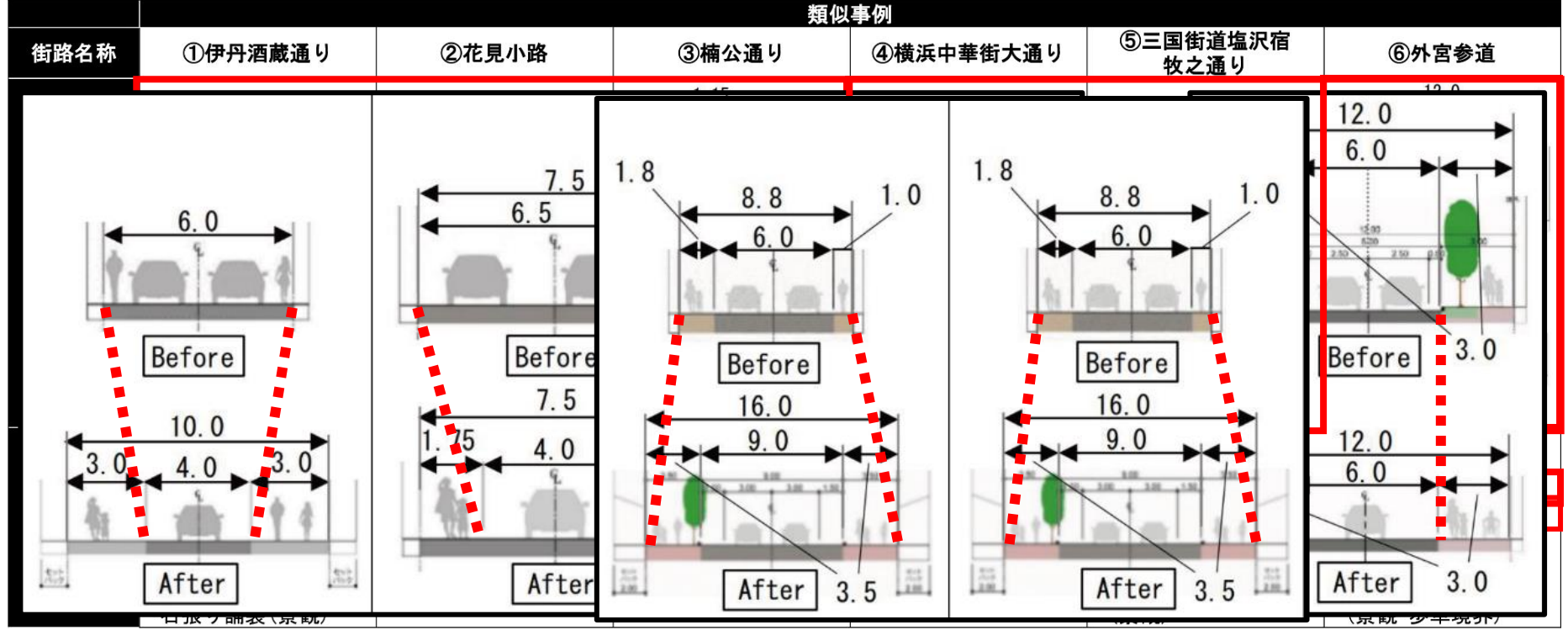
具体的な整備方針の検討

3. 全国の先行事例の特徴分析

国土技術政策総合研究所「道路空間再編・利用事例集」から類似事例*を6件抽出

表1 類似事例の整備特徴

* 幅員・延長・立地(駅周辺)・用途地域が類似したもの



検討すべき要件	①事例での整備方法
(1) 歩行空間の確保	車線数削減/道路拡幅より2m以上の両側歩道
(2) 断面形状	フルフラット/セミフラット
(3) 歩車境界の明確化	舗装による区別/微小段差/車止め/植栽
(4) 植栽の用い方	景観向上から設置/視認性を高めるため撤去

4. 市民の意向把握

②市民の意向把握

- ・ 地権者・事業者ヒアリング/ ・ 若年層対象のワークショップ
- ・ 街路断面検証の社会実験/ ・ 街頭アンケート調査

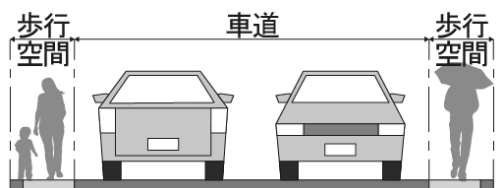
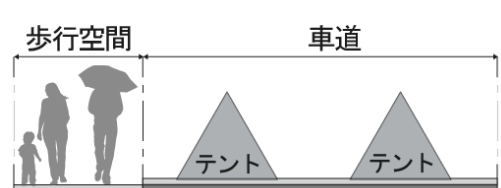

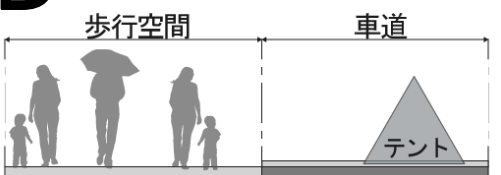


4. 市民の意向把握

4-1. 社会実験による街路断面の検証

2020年11月15日(日) 晴天
11:00~15:00

表3 社会実験検証パターン

	両側歩行空間	片寄せ歩行空間
二車線	A 	B 
一車線	C 	D 

体験した市民に街頭アンケート調査

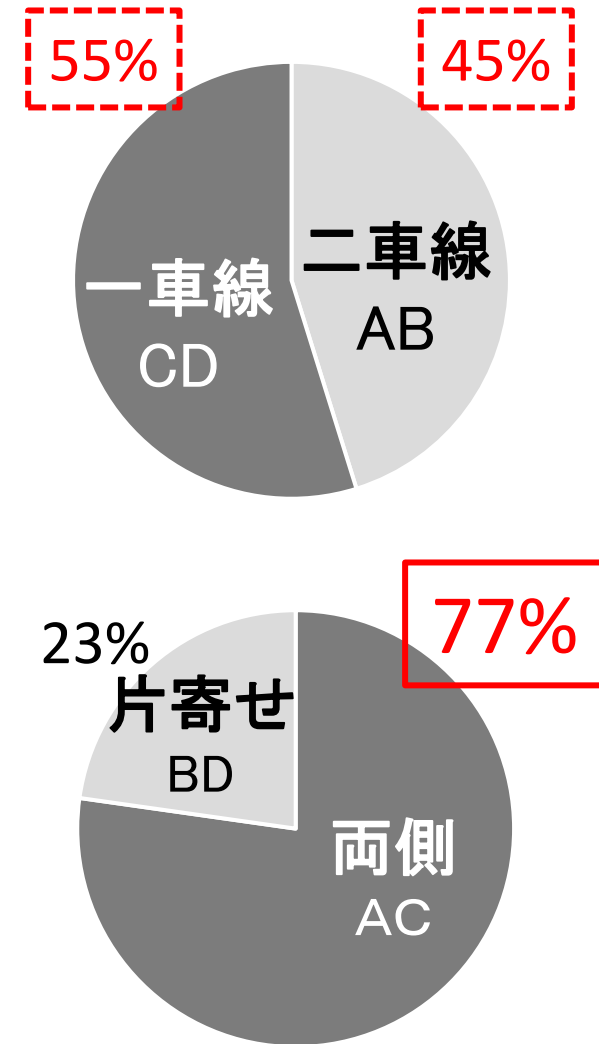


図4 アンケート調査集計結果

4. 市民の意向把握

4-2. 駅前通り整備の課題とそれらに対する意向

表4 第6回WSで検討した提案内容

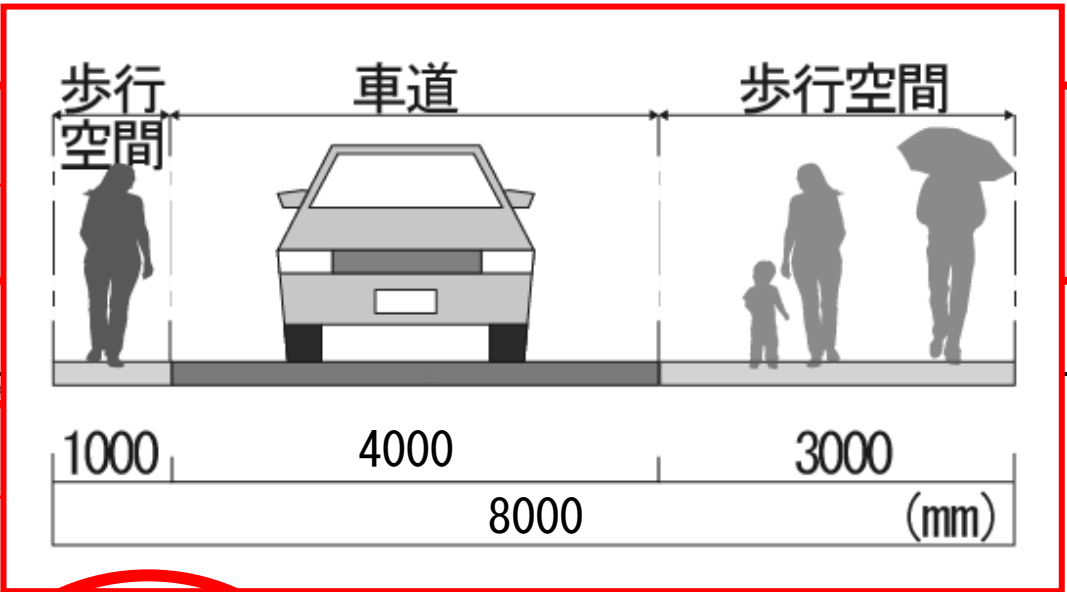


検討すべき要件	①事例での整備方法	②市民の意向	③現状分析と設計要件
(1) 歩行空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・車線数削減 ・道路拡幅 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート/ヒアリングから両側配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員は変更なし(約8m);都決 ・歩道は2m以上;道構 ・歩行空間or歩車共存道路
(2) 断面形状	<ul style="list-style-type: none"> ・フラット化 	<ul style="list-style-type: none"> ・フルフラット ・車道側が低いスロープ 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状:かまぼこ型 ・連続性と歩きやすさから,歩車境界の段差を除去
(3) 歩車境界の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装で区別 ・微小段差 ・車止め ・植栽 	<ul style="list-style-type: none"> ・段差より舗装での区別 ・車止めにストリートファニチャーを設置 →滞留空間も創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装での区別 ・車道側が低いスロープ
(4) 植栽の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・景観向上から設置 ・視認性向上のため撤去 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置→木陰をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状:植栽なし ・動線や見通しを遮らず,地域特性に見合う樹種
(5) 歩行環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・石張り/タイル舗装 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩きやすい舗装 ・車両の減速を図る工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラフィックカーミングを利用し,車両減速措置を施す
(6) 沿道施設との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化 ・広場整備等 	<ul style="list-style-type: none"> ・荷捌き・買物を考慮して,停車帯を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急車両への配慮

5. 具体的な整備方針の検討

表5 検討すべき要件

検討すべき要件	
(1) 歩行空間の確保	
(2) 断面形状	
(3) 歩車境界の明確化	
(4) 植栽の用い方	
(5) 歩行環境の改善	
(6) 沿道施設との関係	



(6) 緊急車両・荷捌きを考慮した停車帯

図5 イメージパース図

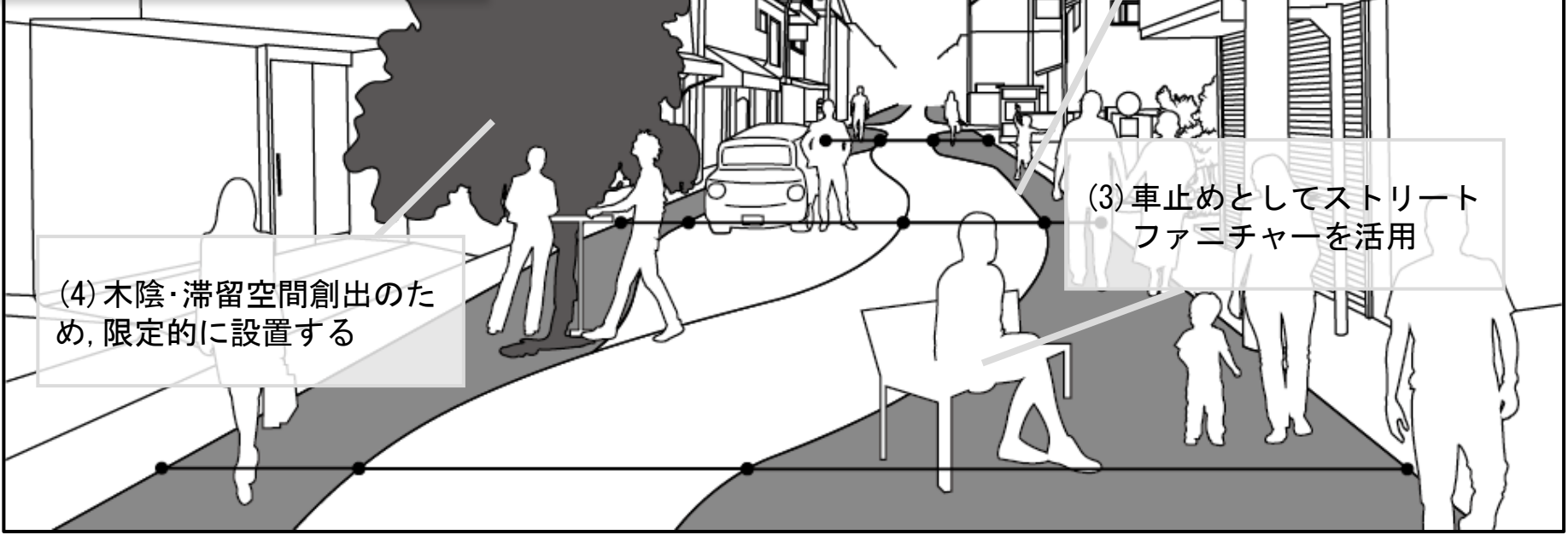
5. 具体的な整備方針の検討

表5 検討すべき要件

検討すべき要件
(1) 歩行空間の確保
(2) 断面形状
(3) 歩車境界の明確化
(4) 植栽の用い方
(5) 歩行環境の改善
(6) 沿道施設との関係

(2) フルフラットにする場合は
舗装による歩車の区別

(3) 高低差による明確化を行う
場合スロープを用いる
(車道を低く)



(4) 木陰・滞留空間創出のため、限定的に設置する

(3) 車止めとしてストリート
ファニチャーを活用

図5 イメージパース図